

「第26回 SABO体験楽校」を開催！

TATEYAMA SABO



富山平野と砂防の関わりを楽しみながら理解してもらうことを目的として、富山県内の高校生を対象とした「SABO体験楽校」が開催されました。高校生3名が立山カルデラに上山し、工事現場見学や実習、砂防事業に携わる人々との交流など、様々な体験をしました。「SABO体験楽校」の開催は、今年で第26回となります。

開校式



開校式記念撮影



小竹事務所長 堀田事務所長 参加者自己紹介

閉校式



参加者代表挨拶



修了証書授与 閉校式記念撮影

参加した生徒の感想（抜粋）

- 立山カルデラ内には約2億3000万年前の崩壊土砂が溜まっている事に驚いた。
- 立山の歴史や砂防工事の大切さを学ぶ事ができて良かった。
- 授業では理解しきれない事を現場の体験で理解できた。
- 骨材が80mmのコンクリートは学校で見た事がなかった。
- 現場や出張所の方々にたくさん話を聞くことができて良かった。

一日目



立山カルデラ砂防博物館



流量観測

二日目



白岩トンネル見学



ICT施工見学



BIM/CIM施工管理見学

開校期間：令和7年7月29日（火）～7月31日（木）

実施場所：立山砂防事務所（千寿ヶ原）

水谷出張所（立山カルデラ内）

参加者：富山県立 高岡工芸高等学校 3名

主催：国土交通省 立山砂防事務所

一般財団法人 富山・水・文化の財団



水谷出張所での記念撮影

三日目



多枝原展望台



無人化施工体験



圧縮強度試験



コンクリート打設体験



ICT施工体験